

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年2月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ホテル浮羽別館新紫陽におけるヒートポンプの導入による熱源設備の更新
承認番号	KC1315□
排出削減事業者名	合資会社ホテル浮羽
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	ホテル浮羽別館 新紫陽 (住所：大分県日田市天瀬町桜竹瀧の下 357)
事業の概要	既設の吸収式冷温水機を空冷 HP 式チラーユニットに更新し、エネルギー効率を改善することでエネルギー消費量ならびに CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012年度：18tCO2 2013年度：30tCO2 2014年度：31tCO2 2015~19年度：34 tCO2 2020年度：20tCO2 (事業実施期間合計 269tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2012年11月3日 終了予定日 2020年11月2日
排出削減方法論	方法論番号 002 「ヒートポンプの導入による熱源設備の更新」

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2017年11月2日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	105tCO2 (2015年4月1日 ～ 2017年11月2日)
-------	-------------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 電力量計の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 電力量計の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 電力量計の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係

	<p>数等が、J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.9 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2015年4月1日から2017年11月2日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年11月2日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

#### 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 36.6kl、熱量換算 1417.4GJであることを確認した。

以上